

# 共通テスト「国語」記述式問題について

大学入試のあり方に関する検討会議（第5回） 筑波大学 島田康行

1. 論じる力の育成を高校・大学の双方で
  - 1.1 国立大学の入試における記述式問題
  - 1.2 大学における初年次教育の実施状況
2. 共通テストの枠組みにおける実施は困難
  - 2.1 試行調査問題が測ろうとしたこと
  - 2.2 「課題」としての採点
3. 共通テスト「国語」見直しの観点
  - 3.1 大問構成と配点
  - 3.2 作問の方針と素材

# 1.1 国立大学の入試における記述式問題

- 文科省「高大接続改革の進捗状況について」（2016.08.31）

国立大学の二次試験における国語、小論文、総合問題に関する募集人員の概算

別紙2

国立大学の二次試験において、国語、小論文、総合問題のいずれも課さない学部の募集人員は、全体の**61.6%（49,487人/80,336人）**

（学部単位の募集人員数の合計）

	募集人員	国語			小論文		総合問題		国語、小論文、 総合問題の いずれも 課さない
		必須	選択	課さない	課す	課さない	課す	課さない	
前期	64,787	15,803	4,757	44,227	3,949	60,838	1,149	63,638	39,470
		24.4%	7.3%	68.3%	6.1%	93.9%	1.8%	98.2%	60.9%
後期	15,549	50	258	15,241	4,203	11,346	1,041	14,508	10,017
		0.3%	1.7%	98.0%	27.0%	73.0%	6.7%	93.3%	64.4%
全体	80,336	15,853	5,015	59,468	8,152	72,184	2,190	78,146	49,487
		19.7%	6.2%	74.0%	10.1%	89.9%	2.7%	97.3%	61.6%

※下段は割合

注1)「小論文」と「総合問題」について、選択科目となっている場合は、「小論文を課す」「総合問題を課す」として計上している。

注2)総合問題とは、複数教科を総合して学力を判断する総合的な問題を指す。

※各大学の発行する「入学者選抜要項」を基に作成

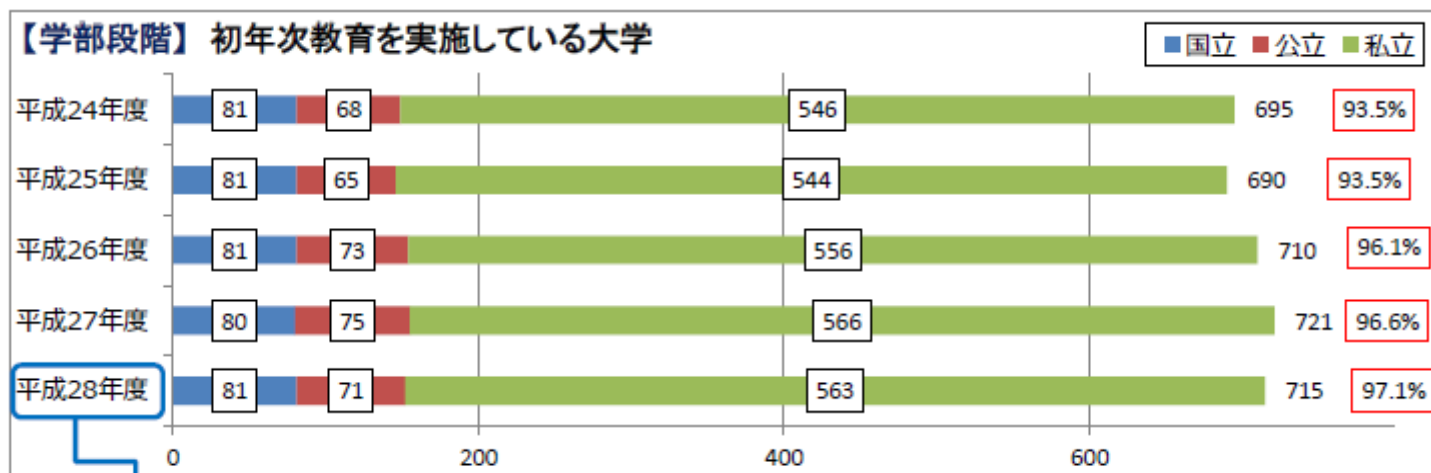
- 「国立大学の大部分において、80字以上の記述式問題は課されており、…それは「国語、小論文、総合問題」だけに限定されるものではない」（宮本・倉元2018）

# 1.2 大学における初年次教育の実施状況

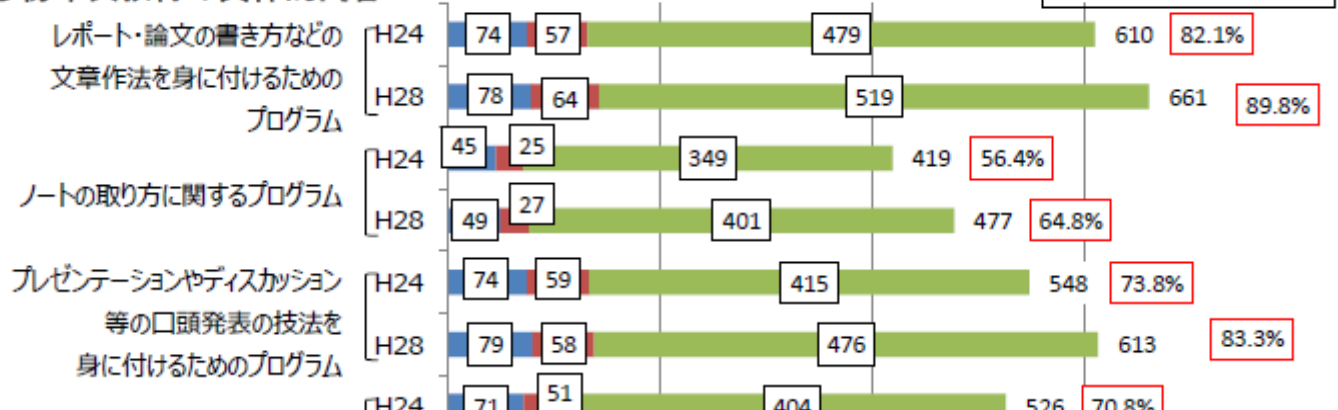
- 文科省「大学における教育内容等の改革状況について（平成28年度）」

## <3-B 初年次教育の実施状況>

初年次教育を実施する大学は、平成28年度においては、715大学（約97%）で、その内、学部全体で実施している大学は623大学（約85%）となっている。



### ○初年次教育の具体的内容




# 2.1.1 試行調査問題が測ろうとしたこと

## 高大接続システム改革会議 「最終報告」

- …複数の情報を統合し構造化して新しい考えをまとめる思考・判断の能力や、その程や結果を表現する能力は、今後、社会のどのような分野においても主体性を持って活動し、活躍するために特に重要となるものであり、こうした能力を高等学校教育や大学教育でよりよく育成していくことが重大な課題…
- そのためには…「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」において、複数の情報を統合し構造化して新しい考えをまとめるための思考力・判断力やその過程や結果を表現する力などを評価することができるよう、マークシート式問題の一層の改善を図るとともに、自ら文章を書いたり図やグラフ等を描いたり式を立てたりすることを求める記述式問題を導入するための具体的方策に…
  - ・「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」の記述式問題については、…解答の自由度の高い記述式ではなく、設問で一定の条件を設定し、それを踏まえて結論や結論に至るプロセス等を解答させる「条件付記述式」を中心に作問を行う…

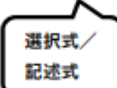
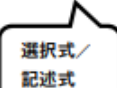
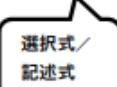
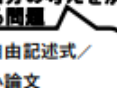
## 文科省「高大接続改革の進捗状況について」（2016.08.31）

### 【評価すべき能力と問題の形式】

- …国語の問題として解答させる内容としては、以下の4種類に大別
  - ① テキストの部分的な内容を把握・理解して解答する問題
  - ② テキストの全体的な精査・解釈によって解答する問題
  - ③ テキストの全体的な精査・解釈によって得られた情報を編集・操作して解答する問題 
  - ④ テキストの全体的な精査・解釈を踏まえ、自分の考えと統合・構造化して解答する問題
- 共通テストの国語の記述式においては、「②テキストの全体的な精査・解釈によって解答する問題」だけでなく、「③テキストの全体的な精査・解釈によって得られた情報を編集・操作して解答する問題」を条件付記述式として出題することを想定している。

## 2.1.2

# 大学入試センター「【国語】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」, 及びそれらと出題形式との関係についてのイメージ(素案)」(平成30年試行調査\_問題、正解等)

大学入学共通テストにおいて問いたい 「思考力・判断力・表現力」	①テキストの部分を把握、精査・解釈して解答する問題  選択式/ 記述式	テキストの部分に書かれていること(構造や内容)を把握、精査・解釈することができる  (例) ○テキストにおける語句の意味や比喻等の内容を適切にとらえることができる ○テキストにおける文や段落の内容を、接続の関係を踏まえて解釈することができる ○テキストの特定の場面における人物、情景、心情などを解釈することができる	
	②テキストの全体を把握、精査・解釈して解答する問題  選択式/ 記述式	テキストの全体に書かれていること(構造や内容)を把握、精査・解釈することができる  (例) ○テキスト全体における書き手の考えとその根拠をとらえることができる ○目的等に応じて情報をとらえ、テキスト全体の要旨を把握することができる ○テキスト全体における人物相互の関係の裏面や心情の変化を適切にとらえたり、言動の意味を解釈したりすることができる ○テキスト全体を通じて対比されている事項について考察し、共通点や相違点を整理することができる ○テキスト全体の構成や展開、表現の仕方等を評価することができる	
(参考)	③テキストの精査・解釈に基づく考えを解答する問題  選択式/ 記述式	テキストに書かれていること(構造や内容)を把握した上で、テキスト全体から精査・解釈し、それに基づき考えを形成することができる  (例) ○テキストを踏まえ、推論による情報の補足や、既有知識や経験による情報の整理を行って、テキストに対する考えを説明することができる ○テキストを踏まえ、条件として示された目的等に応じて、必要な情報を比較したり関連付けたりして、テキストに対する考えを説明することができる ○テキストに含まれている情報を統合したり構造化したりして、内容を総合的に解釈し、テキストに対する考えを説明することができる	
	④テキストの精査・解釈を踏まえて発展させた自分の考えを解答する問題  自由記述式/ 小論文	テキストに書かれていること(構造や内容)を把握した上で、テキスト全体から精査・解釈し、それを踏まえながら発展的に自分の考えを形成することができる  (例) ○テキストにおける書き手の考えを踏まえた上で、テキストに示されたテーマについて自分の考えを論じることができる ○テキストに示されたテーマについて、仮説を立てたり、既有知識や経験を具体的に挙げたりしながら、自分の考えを論じることができる ○テキストと自分自身との関わりを考え、自分自身の問題として論じることができる	

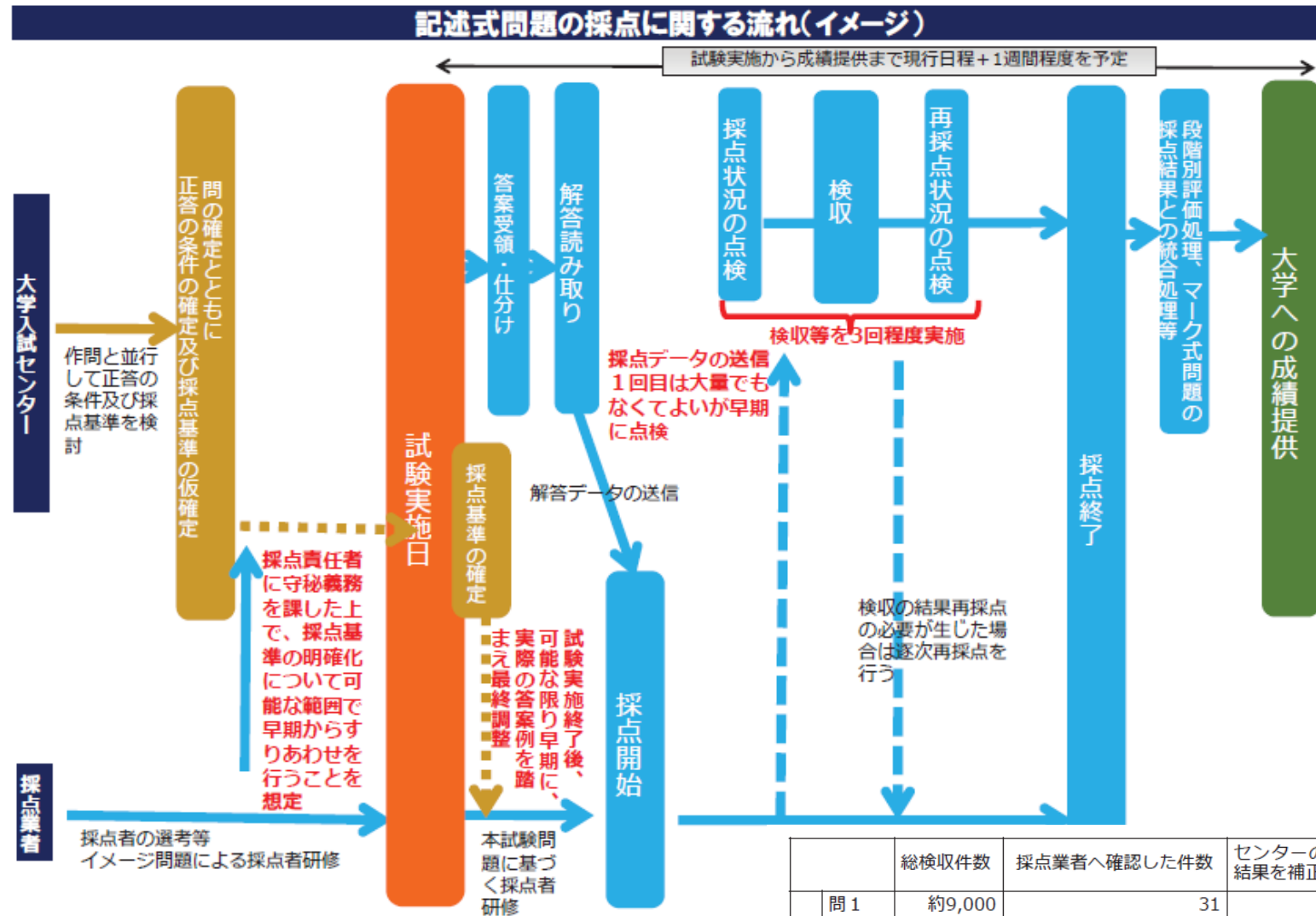
- テキストを踏まえ、推論による情報の補足や、既有知識や経験による情報の整理を行って、テキストに対する考えを説明することができる
- テキストを踏まえ、条件として示された目的等に応じて、必要な情報を比較したり関連付けたりして、テキストに対する考えを説明することができる
- テキストに含まれている情報を統合したり構造化したりして、内容を総合的に解釈し、テキストに対する考えを説明することができる

## 2.1.3 高校教員は記述式問題をどう捉えたか

「…共通試験一般に求められる7つの要件（南風原 2017）のうち、「メッセージ（何に向けて努力すればよいのか）の明確さ」の観点から、新傾向の国語記述式問題（イメージ例、モデル問題例）に対する高校教員の認識を探った。全国の高校2,000校を対象にした調査結果によれば、新傾向の記述式は、マーク式及び旧来の記述式と比べて目新しい印象を与えたが、試験問題としての価値や品位の印象に変わりはない。また、新傾向の記述式の解答に必要と判定された資質・能力は、マーク式及び旧来の記述式とは異なる一方で、新傾向の記述式のねらいと整合した。以上から、新傾向の記述式問題は、高校教員に肯定的に受け止められ、メッセージは一定程度伝わっていることが示唆された。」

宮本・倉元・庄司（2020）「高校教員は新傾向の国語記述式問題をどう捉えているか—全国調査から—」『大学入試研究ジャーナル』No.30, pp.30-35

## 2.2. 「課題」としての採点



	総検収件数	採点業者へ確認した件数	センターの検収を通じて採点結果を補正した件数
国語	問1	約9,000	31
	問2	約8,500	46
	問3	約8,500	46
数学	問(あ)	約10,000	0
	問(い)	約10,000	6
	問(う)	約10,000	4

「採点ミスをゼロにすることは極めて困難であると認識」  
大学入試センター報告 (2019.12.16)

# 3. 共通テスト「国語」見直しの観点

## 3.1 センター試験「国語」の大問構成と配点（200点満点）

問一	}	近代以降の文章（100点）
問二		
問三 古文（50点）	}	古典の文章（100点）
問四 漢文（50点）		

## 3.2 共通テスト「国語」問題作成方針と素材

「出題教科・科目の問題作成の方針」（令和元年6月7日 → 令和2年1月29日）

- …近代以降の文章（論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章）、古典（古文、漢文）といった題材を対象とし、言語活動の過程を重視する。問題の作成に当たっては大問ごとに一つの題材で問題を作成するだけでなく、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた、複数の題材による問題を含めて検討する。
- ~~記述式問題は、小問3問で構成される大問1問を作成する。実用的な文章を主たる題材とするもの、論理的な文章を主たる題材とするもの又は両方を組み合わせたものとする。…~~

「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」（令和2年1月29日）

\* 大問別得点の詳細は、近代以降の文章（2問100点）、古典（古文（1問50点）、漢文（1問50点））

### 試行調査の大問構成

平成29年度：①【実用的な文章】 ②論理的な文章 ③文学的な文章 ④古文 ⑤漢文  
平成30年度：①【論理的な文章】 ②実用的+論理的な文章 ③文学的な文章 ④古文 ⑤漢文